

地域連携支援部 部長 家里 裕



厚生連小千谷総合病院が開院して3年目に入りました。

地域の中核病院として、急性期・慢性期の医療から、長岡市の急性期病院と連携しての回復期医療、また健診センターで市民の健康管理などの保健医療と幅広い分野で活動しています。

高齢者の多い地域の特性もあり、施設や開業医の先生・ケアマネージャーなどからの高齢者の紹介が多くみられます。疾患が治っても退院までの時間がかかることが多いので、入院時から関係職種の方々に退院に向けた調整を行なってもらい、患者様を中心に考えた最良の医療サービスが受けられるように努めています。ただ、身体的状態や環境状況などいろいろと異なる患者様が

多く、退院調整に時間がかかる場合も多々みられます。

これまでの2年間の経験を生かし、更により良いサービス提供ができるように努めたいと思います。

地域連携支援部として在宅復帰や施設入所などを含め、地域の医療・福祉・介護の連携を密にすることが最重要と考えています。

今年度も数回の勉強会などを主催し、地域の施設と顔の見える関係構築を目指したいと思います。

地域連携支援部 チーフマネージャー 澤中 直美



日頃より、当院の運営並びに病診連携につきましては、ご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

地域の医療・介護関係者の連携窓口として患者サポートセンターが新設され、3年目となります。また昨年より地域連携支援部となり、さらなる地域連携の推進を目指し患者サポートセンター・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所と3部署協力しながら、患者様が安心して

受診・療養生活や社会復帰ができるように、院内・地域との密なる連携に取り組んでまいりました。まだまだ至らない所も多々あると思いますが、日々の皆様方との連携を大切に、また頂くご意見を貴重なものとして今後の改善に活かしていきたいと思っております。

患者サポートセンターも昨年度から看護師が1名、平成31年1月から医療ソーシャルワーカーの1名が増員となり、スタッフ一同協力しながら受診相談や多職種協働による退院支援において皆様と連携をさせて頂いている所です。また院内でも多職種参加による入退院支援委員会を立ち上げ、多職種協働の体制整備に取り組み始めております。

さらに、医師会から委託を受けております小千谷市在宅医療・介護連携支援センター事業の活動もようやく1年半となりました。重度の要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるための「地域包括ケアシステム」構築に向け、在宅医療における病院の役割、地域における当院の役割を考えながら関係機関と一緒に進めていきたいと思っております。

これからも地域に根ざした病院として、皆様方から信頼され頼っていただける地域連携支部として努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 小千谷訪問看護ステーションひまわり

＜小千谷訪問看護ステーションひまわりの理念＞

- 1、病気があっても障害があっても、その人らしい生活ができるように、ご利用者・ご家族に気持ちに寄り添い、暮らしを応援します。
- 2、常に学ぶ姿勢を持ち、医学的根拠に基づいた看護を提供いたします。
- 3、ご利用者・ご家族が安心・安楽に生活できる環境を提供いたします。
- 4、地域の皆様が安心して暮らせる社会づくりに貢献いたします。

## 住み慣れた我が家で自分らしく生活できるようお手伝いします

24時間電話対応しております。必要があれば訪問もいたしますので安心して在宅療養が行えます。スタッフは看護師6名体制です。

### ～訪問サービスの内容～

主治医の指示による  
医療処置・管理



療養生活の相談



薬の管理・症状に対する対応・  
療養上の事故防止などの助言



健康状態の観察・疾病の  
予防・悪化防止の支援



日常生活の看護  
入浴・清拭・食事・排泄等



ターミナル（終末期）ケア  
痛みや苦痛の緩和・看取り



### ～ご利用いただける方～

要介護または要支援状態にある方や、病気や障害があるために療養生活の支援を必要とする方など、主治医が訪問看護の必要を認めた方が対象になります。

主治医・ケアマネジャー・入院中の方は担当看護師やソーシャルワーカーにご相談下さい。

### ～お問い合わせはこちら～

小千谷訪問看護ステーションひまわり  
TEL: 0258-81-1655  
FAX: 0258-81-1657

#### ご利用日

土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始を除く日

#### ご利用時間

平日・午前8時30分～午後5時  
訪問看護24時間緊急対応に応じます。



訪問看護ステーションひまわりスタッフ

# 生理検査室 けんさのご紹介



生理検査室では、最新の検査機器を備え、臨床検査技師3名で生理検査・外来採血業務を行なっています。患者サポートセンターを通して、検査（☆印）の受付・予約ができます。

生理検査室の検査を紹介しましよ!



## 心臓

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 12誘導心電図       | マスター負荷試験     |
| 自律神経機能 R-R 間隔 | トレッドミル運動負荷試験 |
| 24時間ホルター心電図   | 心臓エコー検査      |
| イベント心電図       | 心筋シンチグラム     |

## 呼吸機能

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の診断には肺活量の検査で!

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 肺活量 (VC・FVC)・肺活量薬剤負荷試験    |                  |
| 機能的残気量 (FRC)              | クロージングボリューム (CV) |
| 肺拡散能力 (DLC <sub>o</sub> ) | 分時換気量 (MV)       |

## 脳・神経

手根管症候群、肘部管症候群の診断には神経伝導検査!

- ☆脳波検査
- ☆神経伝導速度検査 (NCS)
- 聴感脳性反応 (ABR) 検査
- 顔面神経伝導検査 (ENoG)
- 体性感覚誘発電位 (SSEP) 検査
- 視覚誘発電位 (VEP) 検査

## その他

- 動脈硬化検査  
PAD(末梢動脈疾患)、動脈の詰まり・硬さの検査
- 血圧脈波検査
- 血圧検査  
日常生活の中で一日の血圧変化を検査
- ホルター自動連続血圧検査
- 睡眠時無呼吸検査  
睡眠検査は、簡易的なものも1日入院の精密検査があります
- 簡易睡眠検査
- ☆終夜ポリグラフィ (PSG) 検査

当院の終夜ポリグラフィ (PSG) 検査は睡眠中の血圧を PSG 測定機器で同時記録しています。  
睡眠障害→交感神経亢進→夜間高血圧→様々な疾患  
睡眠障害は、高血圧・糖尿病、心疾患・血管疾患、腎疾患などの他に、認知症まで様々な疾患の引き金となります。  
当院では、血圧記録は小千谷総合病院のみ!!



耳鼻科の検査では  
純音聴力検査・テンパノメトリー・耳小骨筋反射検査の他に、  
語音聴力、重心動揺、  
耳管機能、耳管開放射、  
鼻腔通気度の検査を行なっています。

- ☆心臓エコー
- ☆腹部エコー
- ☆乳腺エコー
- ☆甲状腺エコー
- ☆頸動脈エコー
- ☆下肢静脈エコー
- ☆下肢動脈エコー
- ☆腎動脈エコー
- ☆経頭蓋エコー

生理検査室には、  
超音波検査士3名がいまほ!  
健診・腹部・循環器・表在エコー検査はプロフェッショナルの技師にお任せ下さい!

詳細や☆印以外の検査については、  
総検査課 患者サポートセンターに  
お問い合わせ下さい。  
☎ 0258-81-1616  
FAX 0258-81-1602



小千谷市在宅医療介護連携支援センター

平成 30 年度 第 3 回退院支援勉強会を開催しました

〈 日時 〉 平成31年3月13日（水）18：30～20：00

〈 場所 〉 小千谷総合病院 講堂

- 〈 内容 〉
1. 小千谷総合病院の機能と役割  
小千谷総合病院 病院長 高橋 達
  2. 小千谷総合病院患者サポートセンターの機能
    - (1) 医療連携機能  
小千谷総合病院 患者サポートセンター 平沢 小百合
    - (2) 退院支援と地域連携機能  
小千谷総合病院 患者サポートセンター 安部 充美



〈 参加者 〉 90名（医師、歯科医師、看護師、保健師、薬剤師、介護支援専門員、リハビリ、管理栄養士、歯科衛生士、施設相談員、MSW等）

小千谷市との共催で第3回退院支援勉強会を開催しました。

今回は、改めて「小千谷地域の医療体制を理解する」をテーマとしました。106名と多くの方から申し込みをいただき、当日は季節はずれの雪にもかかわらず90名の参加をいただきました。

高橋病院長の講演では、「ある程度の急性期機能と地域包括ケアを形作る回復期機能」をミッションとして地域の医療を守るために統合時から取り組んできた経緯や開設後の実績報告があり、地域における当院の機能や役割が示されました。患者サポートセンターのスタッフからは、地域連携や入退院支援の実務や仕組みについて具体的な紹介がありました。

小千谷地域の住民が安心して生活の場に退院できるよう医療と介護の連携の推進を支援し、小千谷市や医師会、地域医療・介護関係機関の皆様と共に小千谷地域の退院支援の体制作りに取り組んでいきたいと思っております。

※



編集後記

新年度が始まりました。寒さも和らいで桜をはじめ多くの花々が咲きわくわくする季節です。いよいよ5月には新元号「令和」の時代が始まります。

私達も新たな気持ちで頑張りますので、よろしくお願いいたします。

J A新潟厚生連小千谷総合病院  
患者サポートセンター

TEL : 0258-81-1616 (直通)

FAX : 0258-81-1602 (直通)